



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

＜第2回生徒総会の様子から＞ ～生徒会の活動は学校を変える原動力になります～

今年度の2回目の生徒総会が12月20日(金)に行われました。総会の中で、生徒の皆さんの成長ぶりを感じることができ、2学期の締めくくりにあつさわい素晴らしい生徒総会であったと思います。私は講評の中で、その理由を含め、下記のことを生徒に伝えました。

- ・3年生の役員の皆さんの、誰もが分かるようにハキハキと答える姿やその場でよく考えながら堂々と質問に答える姿に、頼もしさと逞しさを感じたこと。
- ・生徒の皆さんのそれぞれの意見には、否定的な内容はなく、学校をもっとよくしていきたいという気持ちが表れていたこと。
- ・3年生の皆さんの取組は学校に元気を与え、日々熱心に活動する姿は1、2年生の立派な見本になったこと。
- ・学校をよくしていきたいという気持ちを持ち続けて、全員で生徒会活動を盛り上げてほしいこと。



総会では新しい生徒会役員が紹介されました。これからは、新しい役員の皆さんを中心に、2年生が生徒会活動をリードしていきます。ぜひ、2年生の皆さんには、3年生に負けないくらいの力を発揮して、活動してほしいと思っています。それが今までお世話になった3年生への恩返しにもなります。皆さんの後を継ぐ1年生も、応援し、協力してってくれるはずですよ。私たち職員も学校をよくしたいという願いを持っていますので、活動を応援し、協力していきます。生徒会活動がさらに活発になっていくことを大いに期待しています。

＜2学期が終了しました＞ ～身近な出来事について考える時間をつくりましょう～

本日、2学期の終業式を終え、明日から冬休みに入ります。生徒の皆さんには、健康に気を付けて、有意義な冬休みにしてほしいと思います。

さて、終業式の校長講話では、今学期の生徒の生活の様子から、嬉しく思ったことを3つに絞って全校生徒に伝えました。①「授業中の発言やつぶやきが多くなってきていること」、②「合唱(歌声)が上手になってきていること」、③「『家庭の日』の時間を学習に使っている生徒が多かったこと」です。①と②については、学校に来校された保護者の方や地域の方にもおっしゃっていただいております。授業に一生懸命に取り組んできた成果であると言えます。向上心を持ち、今後も自分の力を高める努力を続けてほしいと思います。

上記の他に、私は、冬休みの時間を利用して「身近な出来事について考える習慣をつくってみてはどうでしょうか」という提案もしました。3年生の進路講話の中で、講師の先生からお話ししていただいた内容でもあります。講師の先生は、「知識の詰め込みだけでは高校入試には通用しない。自ら考え、自ら調べて答えを導き出す力が必要である」、そのためにも、「新聞などから身近で起きている出来事を知り、それについて自分の考えをもつことが大切である」とおっしゃっていました。私も同感です。このことは、3年生だけでなく、1、2年生へも伝えたいと思い、講話の内容としました。

3学期は1年間のまとめの学期です。ご家庭でも学校でも1年間の生徒の成長を十分に感じられる学期になればと思っています。保護者の皆様には2学期間、大変お世話になり、ありがとうございました。3学期も引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

知識の詰め込みだけでは
高校入試には通用しない。
自ら考え、自ら調べて答え
を導き出す力が必要である。

↓

身近な出来事について考え
る時間をつくる

家で新聞を読む時間はない
新聞はとってほしい!

↓

【図書館:新聞コーナー】